

近畿本部 情報工学部会 5 月度例会の案内

◇日時：2018年5月12日(土)13時～17時

◇場所：四ツ橋セントラルビル604号・会議室

大阪市西区新町1丁目3番12号

(地下鉄四ツ橋下車1A出口から四ツ橋筋を北へ約1分、東側ビル6階)

◇会費：日本技術士会会員(1000円)、未入会者(2000円)、学生(無料)

<プログラム>

1. **総会** 13:00～13:40

◇本年度幹事(敬称略、順不同)

天野、加賀谷、鍛冶、川本、佐藤(力)、隅田(清)、野原、東山、柏原、北村、本多、榊一、山口

2. 講演 14:00～15:15 野原 英則 技術士

『IT-BCP 策定の留意事項と最近のセキュリティ関連のトピックスについて』

(概要) 昨今サイバー攻撃は更に巧妙化しており、防御が難しく、サイバー攻撃を受けていること自体に企業が自ら気づかないケースも増えるなど、事前対策だけでは対処が困難となってきている。

こうした状況を踏まえて対処方針の見直しが進められ、事後対策が求めるなど、検知・対応・復旧といった事後対策の取組にも重点が置かれるようになっている。

また、経団連から出されたサイバーセキュリティ経営宣言には、「経営方針の策定と意思表示」として、特定・防御だけでなく、検知・対応・復旧も重視した上で、経営方針やインシデントからの早期回復に向けた BCP (事業継続計画) の策定を行うことがうたわれている。

今回は、政府の BCP 策定のガイドライン「中央省庁における情報システム運用継続計画ガイドライン」を通して、IT-BCPの策定方法とその際の注意すべき点を解説し、併せて最近のセキュリティ関連のトピックスについて紹介する。

3. 講演 15:25～16:40 本多 利行 技術士

『型にはめて楽をする論文の書き方』

(概要) 皆さんは業務においても技術士としても、また資質向上のために資格試験においても論文を書く機会は少なくないと思います。そしてもちろん技術士の試験においても論文を書く能力は必須の能力です。だがしかし、数百文字に亘る論文を書くことは決して簡単な事ではありません。本講演では、これまでの経験で得た論文を書くための技法について、誰でも使用できるように説明します。

情報工学部門の方に関わらず、論文を書くのに困った時には何かの助けになるのではと思います。

4. 16:40～ 連絡事項

5. 17:00～ 懇親会

会場：「いつもの処」大阪市西区新町 1-8-22

